



見直そう郷土の歌

「池田市歌」



市民編集委員・
木村順子



♪豊島野のはて
山は青く水も清らか♪

♪ご存じですか？ 池田市歌

池田市歌は市制10周年を記念して、昭和24年4月に生まれました。来年（平成21年）4月で生誕60年、人間に例えるならば、市歌の還暦ですね。

10万市民の中で、市歌を知っている方がどれだけいらっしゃるでしょうか？ 市歌の詞の中には、池田の良き自然と、歴史文化が日本の美しい言葉で書かれています。

池田市歌を口ずさんでみましょう。

(1)豊島野のはて

山は青く水も清らか

懐かしい歴史に根ざすゆたかな文化

田園のひろがる中に

人の和と恵みあふれる

池田

(2)北摂の空

雲は白く風もさわやか

新しい時代をつくるためまぬ努力

くもりなく日の照る中に

健康と力あふれる

池田

(3)清新のまち

心たのしく意気も高らか

美しい郷土はつつむはるかな理想

梅かおり桃咲く中に

幸ぞ野に山にあふれる

池田



♪梅かおり桃咲く中に♪



♪雲は白く風もさわやか♪



♪幸ぞ野に山にあふれる♪



糸さんと冊子『池田市歌を歌い、池田を想う』



♪市歌の美しさに魅了され

この市歌に心を奪われて『池田市歌を歌い、池田を想う』という小冊子を作った方がいます。横浜出身、池田在住36年の糸昌宏さん（68歳）です。糸さんは、自然・音楽・農業・囲碁分野などに興味を持ち、関連分野の工学的研究や著作を進めています。池田市歌と出会い、音楽の美しさに魅了され、遠く離れた故郷の知人や音楽の好きな方々にも聞いてもらいたく、歌のテープを送ろうと思い歌詞も添えようとした時、歌詞の意味が知りたくなったとのこと。そこからどんどんと広がり、池田市歌を作るためにかかわった方々にお話を聞き、池田の歴史・文化に関しては市社会教育課に指導してもらい、この小冊子が誕生。故郷の知人らに池田の素晴らしさを伝えることができました。

「横浜で生まれた私は、5歳のとき空襲に遭い、行くところのない家族は、神奈川県岡崎にあるお寺で過ごし、岡崎小学校に入学。1年生の担任だった先生の影響で、自然の大切さを深く感じて育ちました。戦争で失ったものは大きかったけれど、その後住んだ所で自然が心を癒やしてくれました」と糸さん。池田にもその時のような自然を感じ、池田市歌に心を引かれたのでしょうか。